

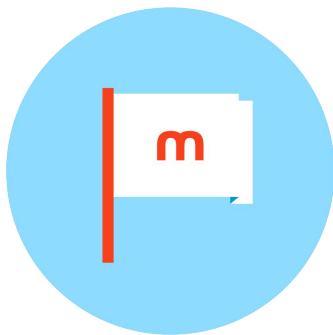
merpay

「後払いサービス」の健全な発展に向けて

2019年3月

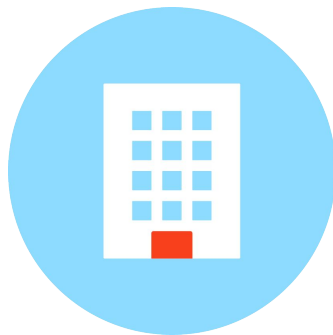
1.メルペイのご紹介

株式会社メルペイのご紹介



会社設立日

2017年11月20日



オフィス

東京 六本木ヒルズ



従業員数*

*グループ連結従業員数
約1,650名

メルペイのミッション

**信用を創造して、
なめらかな社会を創る**

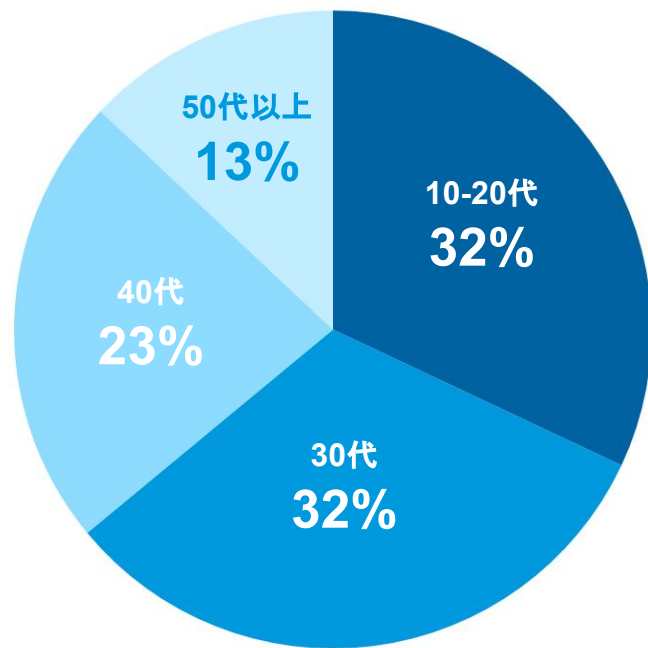
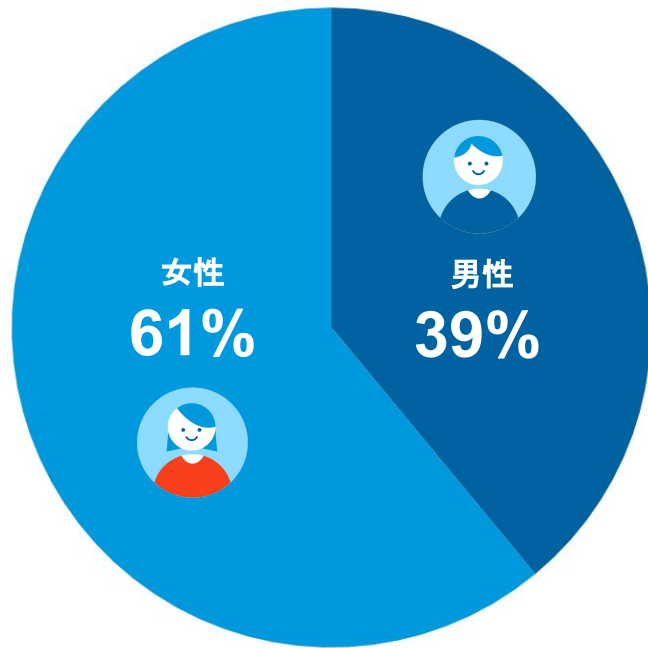
メルペイとは

- フリマアプリ「メルカリ」で利用できるスマホ決済サービス。
- 「メルカリ」アプリをご利用のお客様は、「メルカリ」上での取引を通じて保有している売上金を、「メルカリ」内での商品購入はもちろん、全国の加盟店で利用可能。
(売上金の利用には、資金移動口座の開設が必要。未開設の場合はポイントを購入して決済。)
- また、銀行口座を登録することで、売上金がなくても銀行口座からチャージ可能。



メルカリをご利用されているお客様

- メルカリは年齢・性別問わず幅広いお客様にご利用いただいている。



出典: ニールセンデジタル 2018年8月31日-9月2日メルカリユーザー調査結果

メルペイをお使い頂ける加盟店は全国に

決済対応箇所数 (予定)

ID決済90万か所、コード決済45万か所

1,350,000か所

今すぐ使える (2019年2月20日時点)

今後使えるようになる



AEON

AEON MALL



AMERICAN HOLIC



Green Parks



Right-on.



koé



Agu.

KOMEHYO



PARCO



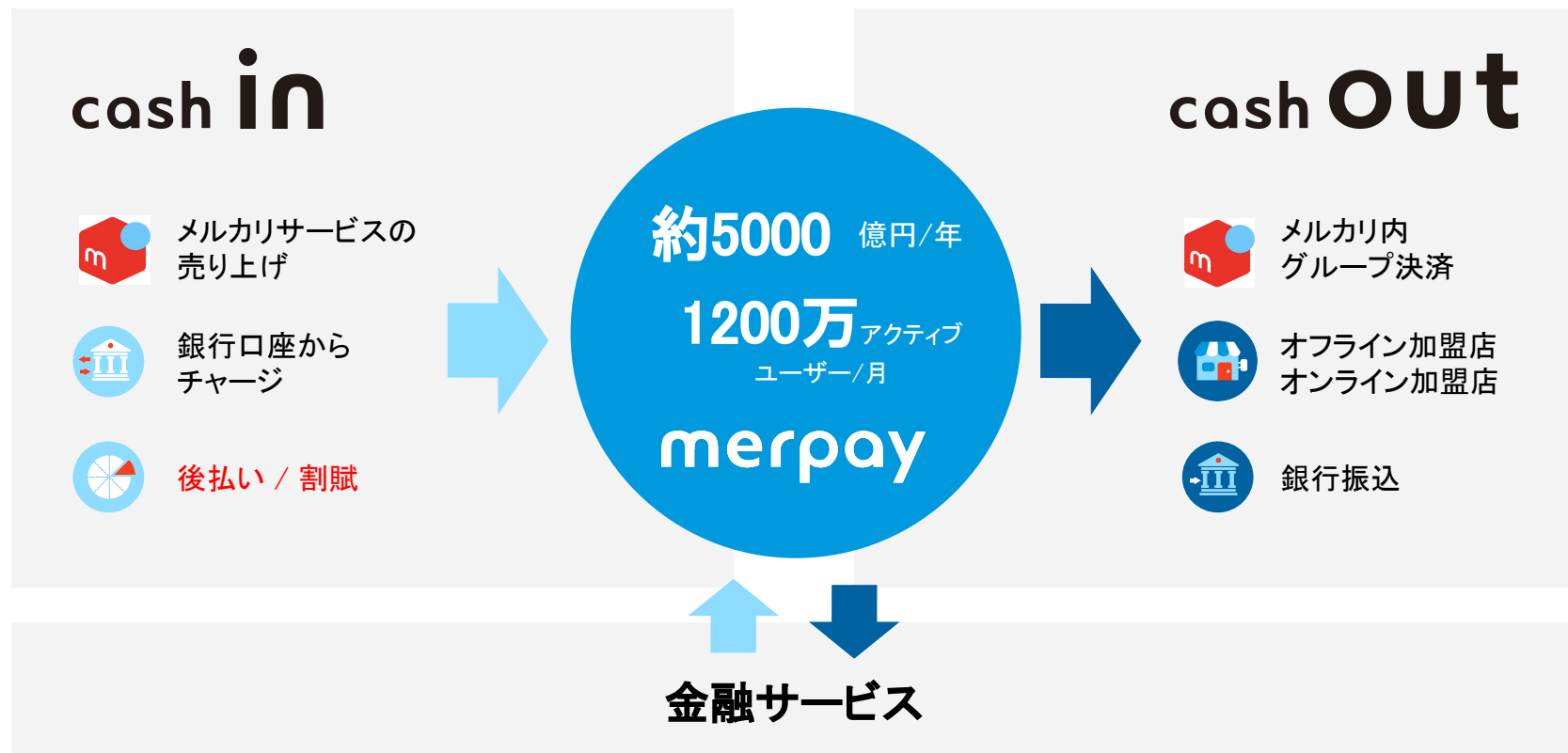
JapanTaxi



※一部対応していない店舗もございます。

※一部対応しない店舗もございます。

メルペイの目指す世界観



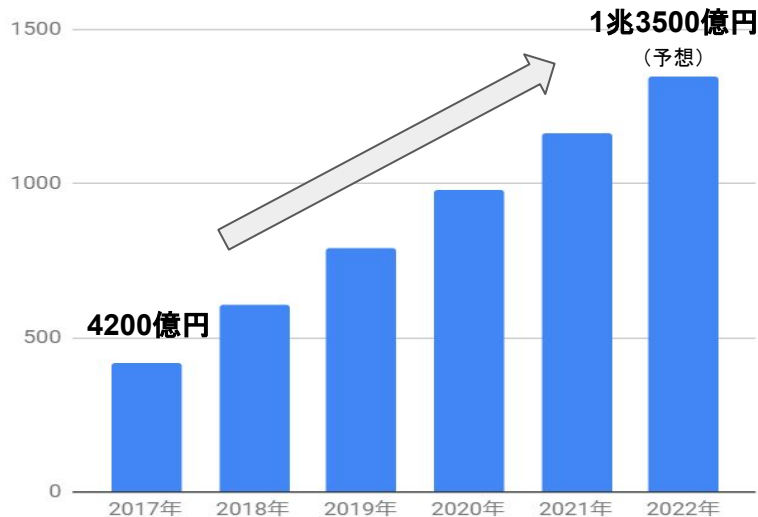
※月間利用者数: FY2019 2Q平均、売上金: FY2019 2Q平均実績を元に試算

2. テクノロジーの進展に伴い実現されるサービス

後払いニーズの拡大

- EC市場では、後払いサービスによる決済額が増加。(2017年～2022年で3倍以上の成長見込み)
- メルカリ内でも、現金での支払いを都度せずとも、当月の支払いを翌月末までにまとめて行える「メルカリ月イチ払い」サービスを提供。購入額ベースでご利用が増加中。
- 主に、メルカリのご利用頻度の高いお客様が利用(お支払いをまとめられる等の利便性)。

EC市場における後払い決済額



出典：オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 _2018版
(2018年3月、矢野経済研究所調べ)

メルカリ月イチ払いとは



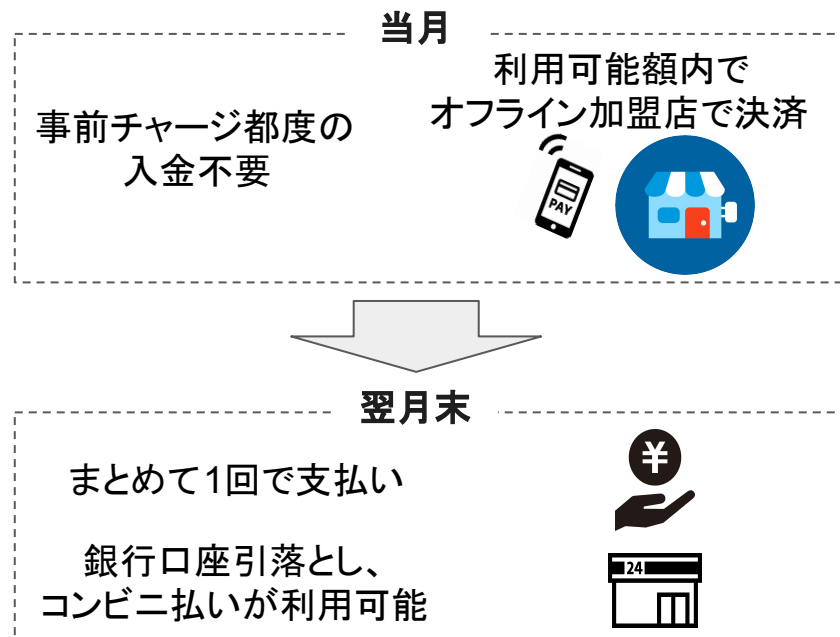
- 購入時に月イチ払いを選択頂くだけで、クレジットカードの登録は不要。
- 利用可能額内であれば購入回数に関わらず利用可能。メルカリ売上金での後払いも可能。
※ただし、取引ごとに審査あり。
- 翌月末までにまとめてコンビニ払い又は口座引落としてお支払いいただく。

メルペイあと払い

- 「メルカリ」における過去の利用実績を元に、オフライン加盟店での商品購入代金を後払いで支払うことができるサービス「メルペイあと払い」を 2019年春頃に展開予定。
(「メルカリ月イチ払い」の名称を変更し、オフライン加盟店での決済にも利用可能範囲を拡大。)
- 売上金やポイントでの支払い以外にも、銀行口座引き落としやコンビニ払いによる支払方法を選択可能。



※残高とは、メルカリの売上金やポイント等を指します。



後払いを安心・安全に使っていただくための措置

1. メルカリの利用実績の活用
2. 本人確認によるなりすまし防止
3. 不正利用の防止
4. メルカリでの売買による支払い手段の提供
5. 全てのお客さまにとって使いやすいアプリ

安心・安全のために～①メルカリの利用実績の活用

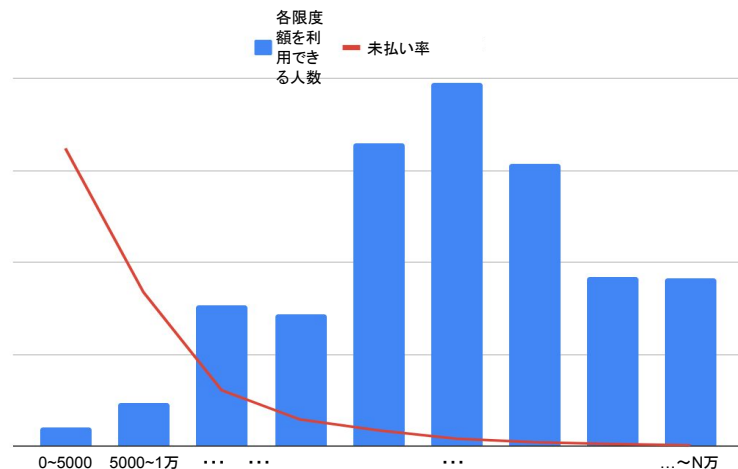
- メルカリに登録されているお客様の情報や、取引(売り・買い両方)の情報、本人確認の状況等に基づいて、お客様に無理のない利用額の範囲を提示。
- 利用額を適切に設定できるよう、AI技術を活用。お客様が支払えなくなることを防止。
- また、システムが提示する利用額の範囲内で、お客様自身で上限額を設定可能とするなど、お客様自らが使いすぎを防止できる仕組みを提供。

利用実績データの例

- 支払能力
 - 売買履歴
 - あと払いでの購買額 など
- 約束の履行
 - 支払いまでの日数
 - 発送遅延
 - キャンセル率 など
- 本人確認の状況 など

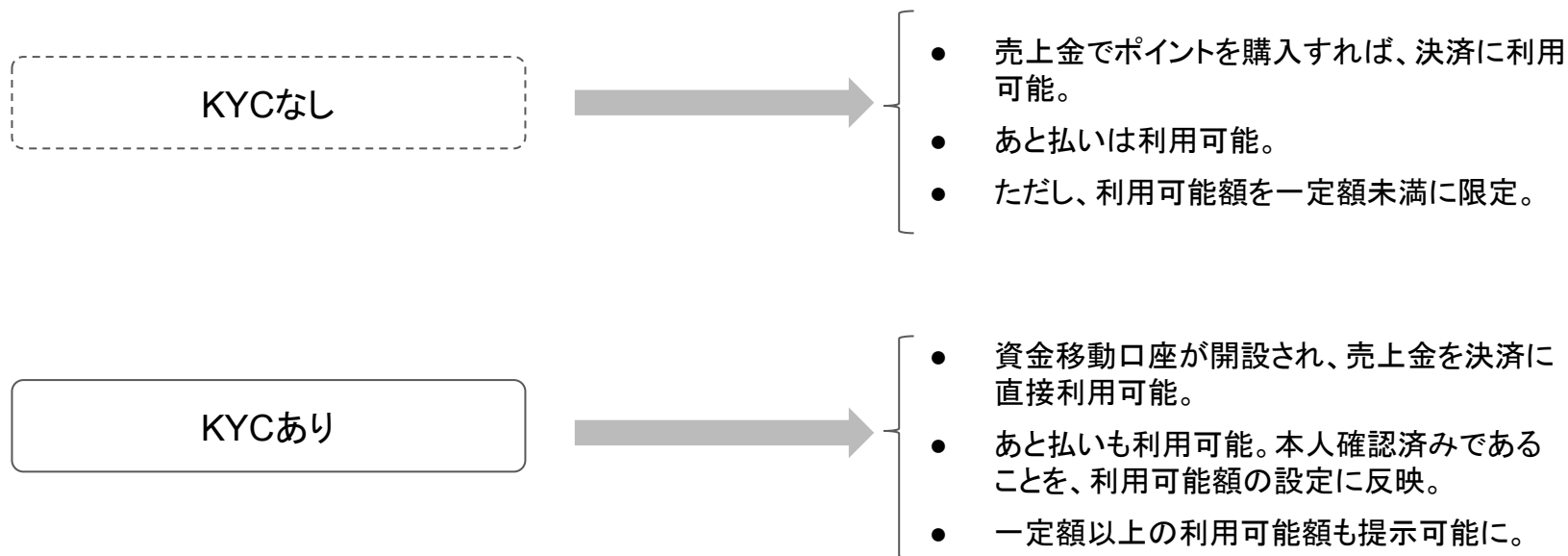
分析

(モデル例) 未払い率の高いお客様には
利用限度額を低く設定するよう学習



安心・安全のために～②本人確認によるなりすまし防止

- 資金移動口座の開設にあたって、犯罪収益移転防止法に基づく本人確認（KYC）を実施。
- また、本人確認の状況を利用可能額に反映するとともに、一定額以上の後払いを利用する際の必須要件とする等により、本人確認が促進されることが期待される。
- これによって、複数アカウントでの「メルペイあと払い」の利用を排除。



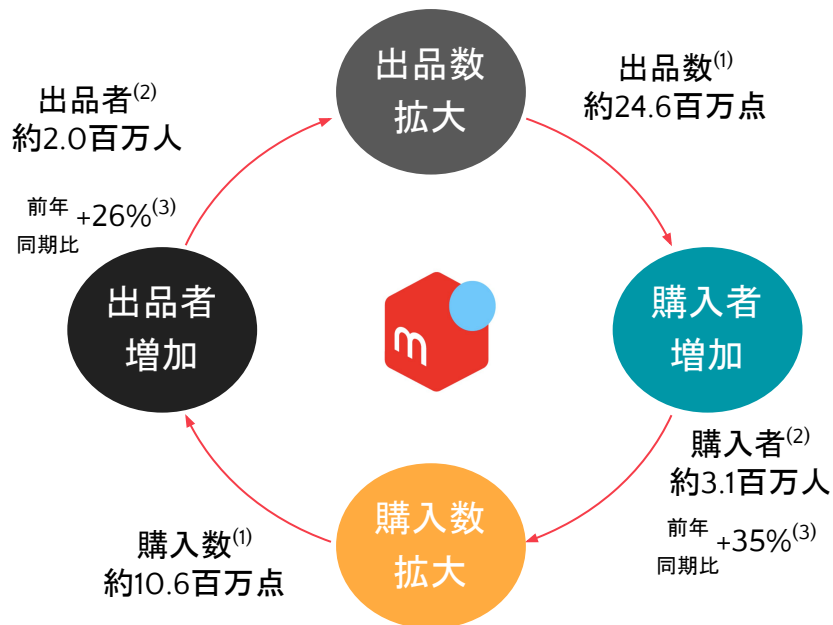
安心・安全のために～③不正利用の防止

- 不正利用防止対策として、決済情報を暗号化するとともに、時限的な決済用コードを都度生成。
- また、スマートフォン端末の盗難やアカウントの乗っ取り等による不正利用防止のため、端末の生体認証等に加え、決済時の追加認証を実装。高額決済時には暗証番号入力（NFC決済）。また、任意での暗証番号設定を可能に（コード決済）。
- お使いいただける加盟店は、取引種類・取扱商材・特定商取引法上の処分状況・苦情発生状況などを審査して決定。途上審査も実施。

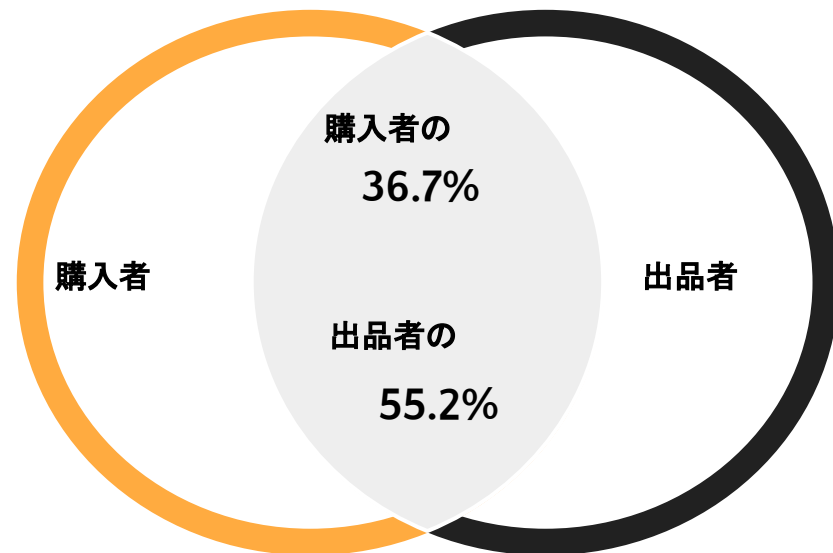


安心・安全のために～④メルカリでの売買による支払手段の提供

- メルカリ上でお客様の物品を販売する場を提供することで、あと払いへのお支払いを支援。



同月内での購入・出品重複ユーザ⁽⁴⁾



出所: 会社資料

- 注:
- 日本のメルカリ事業の月間出品数及び月間購入数の 2018年6月期第3四半期における四半期平均値
 - 日本のメルカリ事業の月間ユニーク出品者数及び月間ユニーク購入者数の 2018年6月期第3四半期における四半期平均値。月間ユニーク出品者数は各月において一回以上出品したことがあるユーザ数、月間ユニーク購入者数は各月において一回以上購入したことがあるユーザ数
 - 2018年6月期第3四半期の四半期平均値の 2017年6月期第3四半期の四半期平均値に対する前年同期比成長率
 - 日本のメルカリ事業の購入・出品重複ユーザの 2018年6月期第3四半期における四半期平均値。購入・出品重複ユーザは同月内にメルカリ上で購入及び出品を行ったユーザ

安心・安全のために～⑤全てのお客さまにとって使いやすいアプリ

merpay

- スマートフォン決済に必ずしも慣れていないお客様にも分かりやすいサービスを提供。



3. 変化するニーズと事業環境 (リスクベースアプローチの必要性)

変化するニーズと事業環境

従来のサービス

ニーズ

- 高額品を購入するためのリボ・分割払い

新たなサービス

- 複数の支払いをまとめる
- モバイルペイメントのキャッシュイン手段
- 1回の利用額や合計の上限額が少額



求められる対応

- 少額の後払いや分割払いに対する規制の見直し
- スモールスタートのハードルを下げる事業環境の整備

事業環境

- 店頭で勧誘
- 物理的なプラスチックカードを発行

- ネット上で完結



- 新たな業態の事業者の存在を前提とした事業環境の整備

4.「後払いサービス」の健全な発展に向けた要望

(1) 新たな技術による過剰与信の防止措置の法的整理

- AIを用いて無理のない利用額の範囲を提示する手法など、新たな技術を用いた過剰与信の防止措置を、支払可能見込額調査と指定信用情報機関の信用情報の使用に代替する措置として、法律上位置づけることができないか。

(2) 少額の後払い・分割払いのニーズに合わせた規制の見直し

- 少額のサービスの場合には、(1)の手法を、お客様の支払義務の履行の可能性や債務の状況を確認する方法として法律上位置づけることができないか。
- また、少額のサービスの場合、支払い義務を履行いただけない際の契約解除までの期間を短縮できないか。(スモールスタートの事業者にとって、長い催告期間は資金ショートにつながるおそれ)

(3) 新しい種類の事業者の存在を前提とした事業環境の整備

- 法律上、完全ペーパーレスを許容していただけないか。
- 求められる社内体制や、セキュリティ対策等について、新たな業態の事業者の存在を前提に見直すべきではないか。